

キウイフルーツ「甘うい」の果肉色および糖度向上技術の開発

背景 県育成品種「甘うい」は果肉色のばらつきと糖度が向上しにくいことが問題でした。

成果の内容 環状はく皮処理と10月下旬以降の収穫 で、**果肉色と糖度が向上** します。

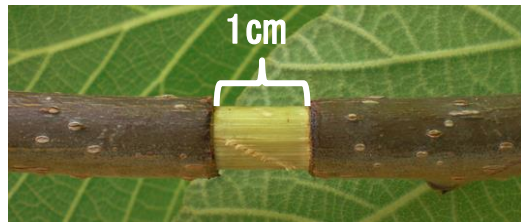
果肉色と糖度の関係

目標



果肉色	緑色	黄緑色	黄色
糖度	低い		高い

環状はく皮処理



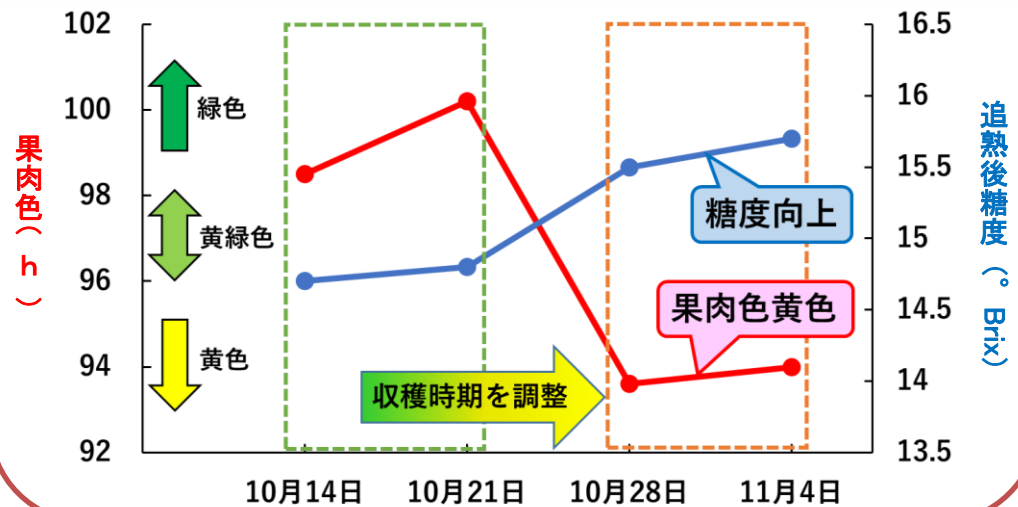
8～9月上旬に結果母枝（果実の成った枝）基部の樹皮を約1cm幅の環状に剥ぎ取る

環状はく皮処理 果肉色・糖度が向上

	無処理	処理
果肉色 (h)	101.3	98.9
糖度 (° Brix)	14.3	15.8

※果肉色は色差計でa、bを調査し、色相角 $h = \tan^{-1}(b/a)$ で表示

収穫期 10月下旬以降で果肉色・糖度が向上



(果樹部)